

キャラクター名  
鴉羽 燎

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	傭兵	カヴァー	
	オプショナル		年齢	22	性別	男
覚醒	生誕	衝動	闘争	初期侵食率	33	%
出自	名家の生まれ	経験	喪失	邂逅	血を分けた肉親	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	3		調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報: 軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鬼斬りの古太刀		0	3	10		1点でもダメージを与えた場合ロイスを1つ解除 GMが許可しない場合解除不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者:鬼斬りの古太刀	P	N		
鴉羽麗	P 純愛	N 憐憫		
先祖	P 尊敬	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
切り払い	1	1	リアクション	至近	自身	<白兵>	-	
効果: <白兵>でドッジ								
リフレックス	2		リアクション					
効果: c値-Lv								
真空返し	3	2d10	リアクション	-	-	シンドローム	120	
効果: 組み合わせ ドッジ判定値+[Lv+3] ドッジに成功した際攻撃の判定を失敗にする								
空疾る爪	2	4	オート	至近	自身	-	120	
効果: 攻撃またはドッジ判定後に使用、判定値+10 1回の判定に重複可能、1シナリオLv回								
鷹の翼	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果: シーン間飛行状態 ドッジダイス+Lv								
獣の力	5	2	Xジェー	武器	-	<白兵>	-	
効果: 攻撃+[Lv*2]								
獣王の力	1	3	Xジェー	武器	-	<白兵>	-	
効果: <獣の力>の係数を4に								
獣の魂	2	5	オート	至近	自身		100	
効果: [肉体]による判定ダイスの直前に使用、ダイス+5 1シーンLV回								
一閃	1		Xジェー			<白兵>		
効果:								
コンソレイト:キュマイラ	2		Xジェー			シンドローム		
効果: c値-Lv								
	★							
効果:								
	★							
効果:								
	★							
効果:								

「人界の進歩もここまで来るたあ、うむ。善き哉善き哉」

「時代が変わろうと世界が変わろうと、俺が為すことは変わらねえ。さァ、そこ退けそこ退け黒鳥様が通らァ」

▼人物  
自らの生家の土地を守護する傍ら、イリーガルとしてUGNへ力を貸す美丈夫。いつも人当たりのよい表情を浮かべており、パーソナルスペースが狭め。人の背中をバシバシ叩くタイプ。よく食べ、よく笑う。声がデカめ。まだ青年と呼んで差し支えない年齢ではあるが、後述の記憶の継承故に実年齢以上の貴禄があったり、逆に最近の事象に少々疎いところがある。オーバーリアクションを取りがちだがよく見ると感情がフラットであり、一見の印象に反して達観した価値観と聡明さを併せ持つ。

▼経歴  
出身はオーヴァードとはまた異なる特異な能力を持った人間を輩出する家系の1つであり、彼の鴉羽家において生まれる双子は歴代の双子の記憶を持って生まれるという特徴をもつ。旧き時代には魔なる異形のものどもから都などを守護する任を請け負っており、受け継がれてきた記憶と経験から高い戦闘能力を持つ。

連綿と続く由緒正しい血筋であるが、近代になりその血が薄れ能力を持って生まれる者が少なくなってきた。さらにはここ数十年でオーヴァードという能力者が世に増えてきたこともあり、相対的に彼らの家系は衰退の傾向にある。

80年ぶりに鴉羽家の双子として生を受けた彼もまた時代の流れには逆らえなかったのか、記憶こそ継承されたものの鴉羽家の能力は失われていた。しかしながら"鴉羽"としての能力こそ持たなかったもののオーヴァードとしての力を生まれつき保持しており、「継承されたモンでもなくとも、力があるんなら俺のやることは変わらねえな」と家族らの失望を一蹴。オーヴァードに適應し、その力を磨いてきた。出稼ぎという面もあるが、純粋に人界を守護するという彼の使命の遂行に都合がよいこともありUGNには快く力を貸している。